

正念寺だより

2013年
11月5日 発行
NO.165

連絡
十一月に予定していたバス旅行は、中止いたしました。

「今川町の皆さんお世話になりました。」



今年2度目の物産店



法話 小林顕英師

10月9日 報恩講を 厳修

仏教アークスの
東北支援物産店



スマートフォンで本堂のパノラマ写真を撮りました

12月の間法会予定 お経の練習と法話会 参加費500円
◎日時 12月 17日(火) 2時～ 法話 正念寺住職

「ひ孫の名 読めない 書けない 聞き取れない」(『シルバー川柳』より)
キラキラ輝やいてほしいという親の思いから、今「キラキラネーム」がはやってるそうです。

絆星(きらら) 来桜(らら) 月(あかり) 七音(どれみ) はまだしも、皇帝(しいざあ) 礼(ぺこ) 宝物(おうじ) あまりにこりすぎると困りはしないか心配です。

落語の「寿限無」は長命を願い、住職が命名した。そういえば僧侶の名前も読みづら

い。「名は体をあらわす」というように、親は子供の人生に願いを込めて命名します。それゆえ、子供の名前を呼ぶときにもいつもその願いが込められています。

南無阿弥陀仏のみ名は「我が名を称えよ必ず衆生を救う」という阿弥陀様の願いが体に具わったものです。だから「ナムアマミダブツ」とみ名を称えることは、同時に「ナムアマミダブツ」からの喚び声を聞かせていただくことなのです。

「称名とは みを 聞くこと
であります」

(来年の法語カレンダーの表紙ことば)



正念寺お同行の西村栄一さん(九十三歳)が、住吉区内の介護付き老人ホームに入居され、住み慣れた今川の地を離れました。

先月お寺にご挨拶に来られた日に留守をしていたので、私から面会に行ってきた。

西村さんが入居された老人ホームは全国に六十六ヶ所ホームを運営され、大阪府下では二ヶ所目、開設一年目のとてもきれいな施設でした。

5階建ての4階の部屋に入居され、「生駒の山からの日の出がとてもきれい」「老いては子に従え」「みんなにようしてもらっています」と、思いのほかお元気でした。「今川町の皆さんにはよろしゅうお伝え下さい。」とのことでした。